

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
事業名	文化財保護意識の啓発事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
文化財の棄損、焼失等により貴重な文化財が失われる。これらを防止するための啓発活動を行う必要がある。	文化財の保存・活用に寄与している。	啓発活動の展開、防火訓練(消火器薬剤入れ替え)。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
実施に要する予算額		実施回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
12,000(円)	0(円)	1(回)	1(回)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	役務費	12,000		財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	12,000	
合計		12,000	0	合計		12,000	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
防火に関する意識啓発のみであるため、内容の検討が必要。	文化財保護意識の啓発及び広く市民への周知。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興			1	文化財の保護・継承			1	文化財の保護・継承		
事業名	文化財の指定・保存											
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費		目	1	社会教育総務費	
	細目	1	社会教育管理業務		細々目	15	文化財保護関連経費		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)			事業の内容(対象・目的・意図)			事業実施の手段・手順		
指定・未指定文化財の適切な保存・活用を図るため、所有者等への管理委託・標柱看板等を設置する。			文化財の保存に寄与。			管理委託・管理補助、標柱設置等を行う。ハマセンダンの指定に向け手続きを進めるほか、且の登り窯、徳利窯、勤場屋敷の保存活用を検討する。		
活動指標				成果指標				成果指標の到達度(B/A)
実施に要する予算額				修復等を実施した数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100 %
727,154(円)		639,549(円)		3(件)		3(件)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	8,600	8,600	財(源割内合訳)	国庫支出金		
	需用費・役務費・原材料費	308,554	221,049		県支出金		
	委託料	215,000	214,900		地方債		
	補助金	195,000	195,000		その他		
					一般財源	100	727,154
合計		727,154	639,549	合計		727,154	639,549
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.4	2,372,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
市民の文化財への誇りと愛着意識の高揚。		市民に親しんでもらうため、文化財の継続的な整備・補修、案内板、説明版の計画的な整備が必要。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承			
事業名	文化財の調査・研究								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内には数多くの文化財が残されている。これら貴重な文化財の調査・研究を進めるとともに、指定文化財の活用を図っていく。	文化財の保存・活用に寄与。	文化財審議会の開催、県文化財愛護協会への加盟・活動展開。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
開催・活動に要する予算額		審議会回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
22,000(円)	22,000(円)	2(回)	2(回)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	6,000	6,000	財源(割内合訳)	国庫支出金		
	報酬	16,000	16,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
				一般財源	100	22,000	22,000
合計		22,000	22,000	合計		22,000	22,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
審議会委員の世代交代、後継者育成	文化財愛護団体との連携
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成25年度に山口県市町埋蔵文化財連絡協議会と全国史跡整備連絡協議会中国地区協議会に加入するための手続きを進める。

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
事業名	伝承文化の継承					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	15	文化財保護関連経費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
唯一、市の無形文化財に指定されている古式行事は、毎年厚狭秋まつりに合わせて開催され、市内外から多くの見物客が訪れている。しかし、地縁的つながりが薄れる中、人的支援、財政支援の継続が困難な状況にある。	文化財の保存・活用に寄与。	古式行事保存会への補助。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
実施に要する予算額		活動回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
450,000(円)	450,000(円)	1(回)	1(回)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	450,000	450,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	450,000	450,000
合計		450,000	450,000	合計		450,000	450,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	593,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
保存会の後継者の育成。市職員の関与の度合いが高すぎる。	地区での伝承文化へ対する誇り等の意識高揚を図り、活動の自立へとつなげる。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	1	文化財の保護・継承	1	文化財の保護・継承
事業名	歴史民俗資料館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	6	歴史民俗資料館費	細目	1	歴史民俗資料館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
①小学校の社会見学増、児童クラブでの利用。②高齢化社会にともない、回想法(認知療法の一種)に当館資料を利用し、取り組む福祉施設増。③産業観光ツアー、産業遺産関連の施設利用、資料利用申請、取材等増。④昭和を知らない世代の増。これらへ対応できる展示内容の見直し、資料の分類、保存業務の改善が必要。	市民の文化財愛護意識の醸成を図り、文化財の保存・展示、調査研究を行う。資料の整理、分類によりわかりやすい展示ができる。目録作成の準備ができる。企画展にスムーズに取り組める。	気軽に見学していただき、団体客や希望者には展示資料の説明を行う。郷土資料の保存や継承に努める。解説パネル、キャプションなどの改善。回想法用の資料BOXの整備。産業遺産関連の地図作成。展示改善。古文書類のデータベース化。収蔵庫の整理。	
活動指標		成果指標	
運営に必要な経費の確保		入館者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5,901,000(円)	5,887,682(円)	10,000(人)	11,069(人)
111 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報酬・旅費	2,644,000	2,644,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
	需用費	2,288,107	2,275,139		県支出金		
	役務費	75,401	75,401		地方債		
	委託料	854,000	853,650		その他		
	備品購入費	39,492	39,492		一般財源	100	5,901,000
合計		5,901,000	5,887,682	合計		5,901,000	5,887,682
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2	2,004,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
旧小野田市時代に建てられており、展示の内容も旧小野田市に関するものになっている。山陽地区の小学生も授業の一環で来館することから、山陽小野田市全体の内容に構成し直す必要がある。	建物の増築 展示のリニューアル
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	